



○中学校の学習について

学習指導担当：保倉裕治

中学校生活の一番の基盤は、何をおいても学習（授業）が据えられています。各教科の学びの中で、基礎・基本（知識・技能）を習得し、それらをベースに自分の生き方（あるべき理想の姿）を考え、自分そして他（社会）よく知り、意欲溢れる生活につなげていくことが目標です。

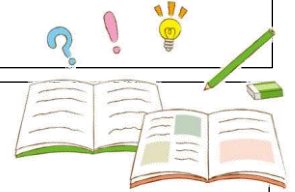
中学校での学習のポイントとして、以下の2点を意識してほしいと思います。

(1) 授業ごとにめあてをもって臨み、「わかる・できる」→「おもしろい」というサイクルを作る

1時間（50分間）の授業を大切に、「今日はこれが分かった」「今日はこれができるようになった」など新しい発見を目指し、そこから真の楽しさを得ていきましょう。

(2) 継続した練習や復習・予習を行い、学力を伸ばす

中学校での学習は、人との関わりを含めて、将来社会に出て生活するうえで必要なことばかりです。習ったことを繰り返し練習したり、予習を組み入れたり、継続は力なりと言われるように、日々の家庭学習時間を確保し、積み重ねを大切にしましょう。



以下、【家庭学習を習慣づけるため】の資料になります

○家庭学習はその日の復習から

自主的な勉強が必要なのはわかっていても、いきなり「勉強しなさい」では、何をどうすればいいのか戸惑ってしまいます。まずは、小さなことからスモールステップで始めることが大切です。目安として、1科目10分程度からのスタートでもOKです。その日の復習をすることで、家庭学習が習慣づきますし「家庭学習のやり方」も学べます。その日の学習内容も定着しやすくなるので「やることによる効果」も実感できます。

【家庭学習 最初の一步の例】

全教科対象：その日のノートを読み思い出す

国語：教科書の音読、漢字の復習

社会：教科書を読み返す

数学：教科書の練習問題を解く

理科：教科書を読み返す

英語：単語、熟語、文法の復習

※ ワークブックなど中学校の副教材に取り組むこともおすすめです



○学年別の家庭学習ポイント

【中学1年生】

毎日家庭学習に取り組む習慣をいかに早くつけられるかがポイントです。そのために、1教科10分といった負担の少ない形から少しずつステップアップしていくのがおすすめです。また、分からないところを辞書などで調べる習慣を早く身に着けることも大切です。意味の分からない英単語や漢字、熟語など、すぐに調べるクセづけをしていきましょう。

【中学2年生】

学習の難易度が上がることで苦手意識が生まれたり、成績が低下して意欲が下がりがちな中2は、学習習慣の乱れをいかに崩さないようにするのがポイントです。市販の参考書や通信教育など自分に合ったもので理解の助けとしていけるものを活用するのも効果的です。

【中学3年生】

高校受験が近づく中3は、家庭学習の中にも入試対策を入れていくことがポイントです。高校入試というゴールから逆算して入試対策を増やしていきましょう。

- ・夏休み：問題集などで中1、中2の総復習
- ・2学期：問題集での演習の積み重ねで応用力をつける
- ・冬休み以降：入試の過去問への取り組みで実践力を身に付ける

6月の予定

日	曜	時程	行事予定等	部活	給食
1	土				
2	日				
3	月			○	○
4	火			○	○
5	水	5時間	体育祭リーダー決め(~23日) 部活動なし	×	○
6	木		河川敷公園清掃(5・6限)	○	○
7	金		市大会選手激励会 尿検査(予備日)	○	○
8	土				
9	日				
10	月		市体育大会 陸上 ソフトテニス サッカー	○	○
11	火		市体育大会 陸上 ソフトテニス サッカー	○	○
12	水	5時間	専門委員会 部活動なし	×	○
13	木		避難訓練(地震・水防)	○	○
14	金			○	○
15	土		市体育大会 ソフトテニス サッカー		
16	日		テスト2週間前		
17	月		市体育大会 各種競技	○	×
18	火		市体育大会 各種競技	○	×
19	水	5時間	職員会議⑤ 部活動なし	×	○
20	木		安全点検	○	○
21	金			○	○
22	土				
23	日				
24	月			○	○
25	火		市体育大会報告会	×	○
26	水	5時間	質問教室	×	○
27	木			×	○
28	金			×	○
29	土				
30	日				